

広告業協同組合 / 2022.3

関東経済産業局認可（昭和33年創立）  
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-26（芝信神田ビル）  
TEL.03(3251)6900 FAX.03(3253)3488

コロナ禍2年目の活動記録



ACAは多種多様な広告モデルを持った企業集団  
和納勉理事長 年頭の挨拶

# 令和3年度の入会社5社は14年ぶり 2年続けてコロナ禍での組合活動



と呼ばれる対応では、会合や人との直接のコミュニケーションを慎重に行う必要があったため、屋内で大勢が揃う活動は自粛を続けました。

年が明けての令和4年も、あらたに出現したコロナウイルス株のため、1月9日の一部地域を対象とした「まん延防止等緊急措置」適用から徐々に全国に適用が広がり、2月5日には1日あたりの新型コロナウイルス感染者数が全国で過去最高の10万人を超えるなど感染症との戦いが継続しました。

このような状況下ではありましたが、昨春秋以降の新規感染者数激減にともない、この2年間実施できていない会員間の懇親の場として臨時に「新春の例会」を感染対策を徹底し人数を制限した着席方式で設定し、ご案内をしました。ひさびさの会ということもあり100名を超す方がご参加を予定されましたが、1月からの感染者数急増により開催の8日前に中止を決定することとなりました。大抽選会のため景品をご準備いただいた各社には申し

訳ありませんでした。結果として、昨年度に続いてこの1年も少人数での部会とオンラインを併用したセミナー、屋外実施の懇親会しか実施できませんでした。総会は前年同様の書面議決を推奨し開催するだけではなく、一歩すすめたオンラインによる傍聴を行えるように改善して実施しました。

ACAの活動記録を6、7頁に掲載いたしました。このような状況でも、昨春秋に導入したオンラインでの会議システムを活用し、総会の他、役員会や部会をきちんと開催するなど確実にACAの組織運営は進化をとげました。

活動に制約が生じた1年でしたが、組織強化部会員をはじめとした多くの会員がACA活動とその魅力を未入会社に伝えていただいた結果として、この1年の新入会社は令和4年2月時点で5社となりました。1年に5社入会されたのは、平成19年(2007年)度以来となります。

新入会社の内4社はACA REP O R T S 128号で紹介をしましたが、もう一社の(株)ガイアコミュニケーションズをご紹介します。

## 入会社の自己紹介 株式会社ガイア

コミュニケーションズ  
代表取締役社長 栗原 弘樹



私たちは「安く」「早く」「細かく」そして「わかりやすく」この全てにこだわり、クライアントのパートナーとして、販売の促進に貢献してまいりました。私たちが考えてきたこと、それはタブーや実績にとらわれない常に最適なプロモーションです。今までの既成概念にとらわれない視点と、貪欲なまでに実行する行動力が今日の信頼につながってきたと思っております。自ら人材派遣部門を持ち1万数千人の販売専門スタッフを保有する弊社は、どこよりも売りの動向を把握し販売促進企画の立案に重要な役割を果たしてきました。今では、集客から販売、そして店舗運営まで、様々なご要望を頂くようになりました。今後も、私たちは「エンドユーザーに近いこと」で差別化をし、販売ができる広告会社として真の販促企画をご提案してまいります。

## 年頭ご挨拶

# アフターコロナの広告業界

広告業協同組合 理事長 和納 勉



明けましておめでとうございます。一昨年、昨年とコロナウイルス蔓延の打撃を大きく受けた広告業界でありましたが、東京オリンピック、パラリンピックも無観客とはいえ開催され、イベントの復活も少しずつみられるなど、年度後半は明るさも見えてきたのではないかと思います。

リモートワークも新しい働き方も定着し、アフターコロナ以降のニューノーマル時代の幕開けとなる中、広告の在り方も随分と変化していくのではないのでしょうか。ソーシャルメディアの普及とともにAIの活用やアドテックノロジーの進歩はますます広告業の在り方を変えていくでしょう。このような時代の中、ACAにこの二三年新規入会された企業は新しい広告の在り

方を予感させる若手ベンチャー企業がほとんどです。中小企業とは言え独自の多種多様な広告モデルを持った企業集団がACAであります。またこの若手企業は必ず広告業界を引っ張っていくような活動をして頂けると期待いたしております。

一昨年と同様にACAも活動が制限され、組合員各社また各団体の皆様には随分とご迷惑をおかけしました。オンラインを使ってのセミナーや行事も実施いたしました。今年もリアルでの従来の活動を復活させ、オンラインとのハイブリッド型の活動も併せて行っております。一方引き続き「日本広告業企業年金基金」「東京広告業健康保険組合」の設立団体としても広告業界の福利厚生活動の一端を担い、組合員各社また広告業界へ貢献を目指して参ります。

今後とも皆様方のご支援を賜りたく存じますとともに、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

## 賀春 2022年 広告業協同組合 役員一同

理事長	和納 勉	(株)クイック	代表取締役会長
専務理事	小松 茂	東栄広告(株)	代表取締役
常務理事	今井 祥雅	(株)マインドシェア	代表取締役
常務理事	岩淵 早樹	(株)サン・アド	代表取締役
常務理事	新田 修平	(株)ユアーズブランニング	代表取締役
常務理事	佐藤 孝	(株)リクルーティングサービス	代表取締役
常務理事	大津 裕司	(株)日宣	代表取締役社長
理事長代行	山上 徳夫	(株)一ダールンホルディングス	代表取締役
理事	中筋 哲久	(株)アド・エヌ	代表取締役
理事	金澤 隆夫	(株)アドバード	代表取締役
理事	新井 寿一	(株)コーセンドー	代表取締役
理事	井上 慶悠	(株)宏和デザイン	代表取締役
理事	小島 正登	(株)小島折込広告社	代表取締役
理事	松本 正治	(株)サンヨー	代表取締役
理事	星野 順行	(株)スカウト	代表取締役
理事	小野瀬孝行	(株)太陽企画	代表取締役
理事	谷澤 律	(株)千代田広告社	代表取締役社長
理事	赤池 文孝	(株)東通メディア	代表取締役社長
理事	金子 孝暎	(株)フロム・エー ジャパン	代表取締役
理事	木村 正弘	広告業協同組合	事務局長
監事	川原 猛	(株)トーカーエクスプレス	代表取締役
監事	高崎 誠司	(株)プレシヤスパートナース	代表取締役

# 質の高いワークライフバランスの実現に期待

東京広告業健康保険組合 理事長 植野 伸一様

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
まず初めに、新型コロナウイルス感染症拡大で罹患された方々や、その関係者にお見舞い申し上げますと、困

難な環境下で対応された医療従事者の皆様に敬意を表したいと思います。東京広告業健康保険組合といたしましても、微力ながら組合員の感染予防・健康維持に尽力してまいります。



第一回目の緊急事態宣言発出からもうすぐ2年が経とうとしています。史上初の1年延期、そして観客制限という特殊な状況下で開催された世界的なスポーツイベントを無事終えることができ、多くの広告業界関係者も一様に安堵していることと思います。

残念ながら、このビッグイベントが広告業界の大きな追い風とはなりませんでしたが、最近では万全の感染対策を施した上での有観客のイベント開催やキャンペーンの再開なども徐々に増えてきており、広告業界も順調に回復に向かっていきます。

できるなど、リモートワークによってワークライフバランスが改善されているのも事実です。  
また今年の4月1日から段階的に施行される「育児・介護休業法」により、働き方にさらなる選択肢が生まれ、ワークライフバランスの質は着実に向上していくことでしょう。これは、社員の皆さんの心と身体の健康を維持していく上で、とても大切なことだと考えています。

一人ひとりの健康は、会社の活力となり、ひいては日本経済回復の原動力となります。東京広告業健康保険組合におきましても、時代の変化をつねに注視しつつ、社員の皆さんが安心して日々の業務に邁進していただけるよう、より一層の健康サポートに力を尽くしていきたいと思えます。

※本稿は、元旦にACAホームページに掲載された内容を採録したものです。

# 新聞広告のメッセージ性が改めて評価

一般社団法人日本新聞協会広告委員会 委員長 安部 順一様

あけましておめでとうございます。日頃から広告業協同組合加盟各社の皆様には大変お世話になっております。新しい年を迎えるにあたり、日本新聞協会広告委員会を代表してご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルスとの戦いは当

初想定していたよりもはるかに長いものになりました。多くの業界が大ダメージを受けた2020年に続き、2021年も9月までは感染拡大が収まらず、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が次々発令される事態となりました。10月以降は劇的に感染者数が

減少しているものの、オミクロン株の感染拡大が危惧され、まだ油断できません。

コロナ禍は、リモートワークの拡大など私たちの生活を大きく変えました。新聞との距離は縮めました。

日本新聞協会が昨年3月に発表した「新聞オーディエンス調査」によると、紙、インターネットを問わず新聞社発の情報に毎日触れる人は50.2%で、新聞に接触する人の14.0%が、コロナ前の19年と比べ閲読時間が増えたと答えています。メディアのうち、新聞は「知的」(61.8%)、「情報が正確」(51.5%)、「情報の信頼性が高い」(49.6%)などの項目で他媒体よりも高い評価を得ました。新聞広告への評価として最も高かった項目は「情報が信頼できる」(40.1%)でした。新聞が発信する情報へのニーズはコロナ禍を経てより高まっていると言えます。

年間を通じて実施している「新聞オーディエンス365調査」でも、5月の緊急事態宣言延長、9月のワクチンの追加接種情報などに読者の注目が集まっており、フェイクニュースも飛び交うネット情報とは一線を画し、新聞を頼みにしていることが窺えます。

コロナ禍のため無観客で開催された

東京オリンピック・パラリンピックに関する新聞報道も大きな注目を集め、協賛各社の広告が新聞紙面に彩りを与えました。舞台裏で、多様性についての認識が議論されたこともあって、企業がSDGsへ向けた取り組みを新聞広告でコミュニケーションするケースも増えてきました。新聞広告のメッセージ性が改めて評価されたと言えます。

さて、2022年は北京オリンピック・パラリンピック、ワールドカップ・サッカー・カタル大会などの大規模スポーツイベントが開催されます。コロナ感染の行方は依然として予断を許しません。日本国内でも「ミニコロナ」から「afterコロナ」へ様々なことが平常化されることが期待されます。どのような状況にありましても、新聞各社は読者の期待に応えるべく正確な報道を続ける一方、広告主の皆様への期待に沿えるような新聞広告、デジタル広告をはじめ最適なコミュニケーション手段を提供してまいります。

本年をコロナ禍からの再生の1年にすべく、私どもは広告業協同組合加盟各社の皆様とともに力強く進んでいく所存です。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

※本稿は、元旦にACAホームページに掲載された内容を採録したものです。



# 広告業協同組合行事記録

## ●第62回通常総会(コートヤード)

マリオット銀座東武ホテル)

令和3年

- 5月18日(水) 第1号議案・令和2年度決算承認の件(承認)。第2号議案・令和3年度事業計画・収支予算決定の件(承認)。第3号議案・定款一部変更の件(承認)。第4号議案・組合役員改選の件(承認)。記念講演・会員の集いは実施せず。
- 7月15日(木) 入退会の件(承認)。部会委員について(承認)。会計システム保守期限切れによる新システム検討の件(承認)。「経営懇談会」実施案(承認)。ACA 報9月発行延期の件(承認)。
- 9月15日(水) 入退会の件(承認)。共同購入事業商品カソリン・軽油取り扱いの件(承認)。経営情報研究部会セミナー実施の件(承認)。経営懇談会を懇親ゴルフ会として実施する件(承認)。
- 12月17日(木) (オンライン併用) 入退会の件(承認)。「新入社員実践研修」実施案(承認)。
- 11月17日(水) 入退会の件(承認)。共同購入商品としてクラウド型業務管理システム取り扱
- 4月21日(水) 令和2年度決算案、令和3年度予算案(承認)。定款の一部改訂案(承認)。
- 6月16日(水) 入退会の件(承認)。部会担

## ●役員会・三役会(開催場所無記)

- 4月21日(水) 令和2年度決算案、令和3年度予算案(承認)。定款の一部改訂案(承認)。
- 6月16日(水) 入退会の件(承認)。部会担
- 9月15日(水) 入退会の件(承認)。共同購入事業商品カソリン・軽油取り扱いの件(承認)。
- 11月17日(水) 入退会の件(承認)。共同購入商品としてクラウド型業務管理システム取り扱
- 12月17日(木) (オンライン併用) 入退会の件(承認)。「新入社員実践研修」実施案(承認)。
- 11月17日(水) 入退会の件(承認)。共同購入商品としてクラウド型業務管理システム取り扱

## ●部会活動状況

### 1. 組織強化部会

あらたな加盟企業を増やし、組織の拡大を図る部会。新規入会社への優待制度、新規会員社紹介社へのインセンティブ制度を期間限定で実施。新規加入組合員社へのフォローと、入会社の求めるものをくみ上げるため新入会員社は所属をお願いしている。

### 2. H・I・D・(国際・研修)部会

広い視野からの広告活動を目指し、世界における広告ビジネスやそのトレンドを研究する。ただ、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、見学・視察活動は行えなかった。今年度実施は「新入社員研修」(4月)のみ。

### 3. 事業推進部会

組合による共同購入により、会員社にメリットが出るよう活動し、オフィス用品、保険、生花、バイク便、割安電報および医療共済保険などの事業を行っている。また、新たな事業の研究・検討を行った。今年度は新たな事業として「ガソリン・軽油」と「プロジェクト管理システム」の取り扱いを始めた。また、経営情報研究部会と共同で

セミナーを実施した(11月)。

部会開催日4月13日/9月13日(役員会)/10月27日

### 4. 経営情報研究部会

組合会員社が直面する経営全般に関する共通課題を研究し、情報の共有を進めている。「経営のノウハウ」「新規事業のビジネスモデル」「相互支援」を軸として活動。今年度もオンライン併用でセミナー「企業が取り組むSDGs—実例を交えて—」を実施した。また、Webマーケティングガイド・レポート」を随時発信した。経営情報研究部会セミナー(11月)を開催。

部会開催日3月25日/9月13日(役員会)/10月5日、1月25日

### 5. 広報取引部会

広告業界との緊密なつながりを保ち、会員社同士のビジネスに係る緊密なつながりをつくり、組合の存在意義を確固たるものにすることを役割としている。また、ACAの活動を広くPRすることも重要な役割。今年度は、「ACA REPORTS」を12月(9月から延期)と3月に発行。「お役立ちメール」を月1回発信。部会開催日8月4日(役員会)

いの件(承認)。「冬の例会」中止ならびに「新春の例会」実施の件(承認)。「新年祝賀会中止の件」(承認)。

12月15日(水)「新入社員実践研修」実施の件(承認)。「新春の例会」実施可否判断を持ち回りで決定する件(承認)1月7日持ち回りにて中止を承認。

2月16日(水)「ACAカップ」実施案(承認)

## ●令和4年ACA新年祝賀会

1月19日(木) 如水会館スターホール・中止

## ●組合例会(講演会・懇親会)

7月15日(木)「夏の例会」(コートヤード

マリオット銀座東武ホテル・中止

12月15日(木)「冬の例会」(コートヤード

マリオット銀座東武ホテル・中止

1月19日(水) (臨時)「新春の例会」(如水

会館・中止)

## ●ACA「新入社員実践研修」

4月2日(金) 6日(火) 7日(水) (新橋

駅直結セミナールーム

講師 竹内亜佐子氏他

(4名参加)

## ●ACAカップ懇親ゴルフ会

(チャリティゴルフコン

ペ)

4月22日(木) 水海道ゴルフクラブ(32名

参加)

## ●経営情報研究部会・事業推進

部会共同セミナー

11月19日(木) ビジョンセンター日本橋別

館1部「企業が取り組む

SDGs—実例を交えて

—」2部「DX時代のプ

ロジェクト管理」プロ

ジェクトの成功をささえ

る」(会場12名、We

b 38名参加)

## ●経営懇談会

10月14日(木) 宿泊による懇親会を中止し

懇親ゴルフコンペのみ開

催。富士桜カンツリー

倶楽部(富士河口湖町)

(32名参加)

## ●全国広告業団体連絡会議

4月28日(水) 令和2年度後期事務局長会議

(オンライン開催)

10月8日(金) 令和3年度総会(書面議決開

催)・令和3年度前期事

務局長会議(オンライン

開催)

2月16日(役員会)/3月7日

## 6. 親睦部会

会員同士の絆を深める機会をつくり出す親睦機会を提供する。会員社の経営者および社員が、世代を超えて本音で話ができる場を提供する。今年度は、「ACAカップ・ゴルフ懇親会」(4月)と経営懇談会にかえた懇親ゴルフ会を開催(10月)開催。夏・冬の例会における「懇親会」(中止)。

部会開催日8月3日/2月3日

## 7. 選挙対策管理運営委員

隔年に行う組合役員選挙の運営、そのための諸規定の整備、組合の諸制度の検証を通じて、組合の在り方を検討する。来年度は、役員改選にあたる。

委員会開催日4月20日

「損害保険 生命保険」のことなら東京海上日動生損保代理店

# 日本リスクマネジメント(有)まで!!

TEL.03-3311-7540 FAX.03-5305-3685

〒166-0015 東京都杉並区成田東3-6-3

mail:nihonvns81@jcom.home.ne.jp フリーダイヤル 0120-363-757

# 各行事レポート

安心・安全対策を

施行行いました

## 経営情報研究部会・事業推進部会

### 共同セミナー

11月19日(金)13時30分より、ビジョンセンター日本橋別館にて経営情報研究部会・事業推進部会共同セミナーをオンライン併用にて開催した。参加者は会員社から第1部45名、第2部25名だったが、聴講者の安全・安心を考慮して実施したオンライン利用者が8割となった。



セミナーは、担当役員の新田修平常務理事(株)ユアーズプランニング代表取締役)の開会挨拶ののち、司会役の金澤隆夫理事(株)アドバード代表取締役)が講師を紹介し開始した。

第1部「企業が取り組むSDGs―実例を交えて―」では、講師の二宮朋子氏(早稲田大学ビジネスファイナンス研究センター 招聘研究員)が、多様な聴講者に合わせてまずは「SDGsとは」を分かりやすい事例を含めて説明した。その後、就活生へのアンケート結果から、この世代にはSDGsは7割が認知している常識であり、ジェンダー平等の実現や、コロナ禍を経験したことで持続可能なビジネスモデルの必要性を強く実感していると解説した。このようにSDGsは次世代にはあたりまえのこととなっており、各企業は、そのSDGsへの取り組み度合いにより、企業が学生から選ばれる側になっている事実があることを報告した。その後、数々の企業による実践例を紹介し、企業にとってのSDGsは、まずSDGsを理解し自社をSDGsの視点でとらえなおし、自社をSDGsの観点から変えていく、そしてその取り組みを発信し、ブラッシュアップをし続ける。これを繰り返していくこ

とがポイントと講演し、質疑応答を行った。

第2部「DX時代のプロジェクト管理」プロジェクトの成功をささえる」は、講師の若村和明氏(株)シービーティー代表取締役社長)が、最近、導入する企業が増えているプロジェクト管理システムについて、そのメリットや機能について講演した。さまざまなシステムがある中、広告・WEBクリエティブ・建築・設計領域などを扱う業界に特化したプロジェクト管理システムを、その特徴や有用性を他のシステムとの具体的な比較も交えて紹介し、検討から運用段階まで例をあげて説明を行った。講演にあたっては、同社が取り扱うクラウド型プロジェクト管理システム「PROCAN」をACAの事業推進部会が共同購入事業商品とすることで、ACA会員社には優遇措置が受けられることも報告された(詳細は事務局までお問い合わせください)。

その後、質疑応答を行い、最後に、小島正登理事(株)小島折込広告社代表取締役)が講師にお礼を述べセミナーを終了したが、講師と会場参加者との名刺交換が行われた。

信頼の世界品質、チャブ保険。

www.chubb.com/jp

CHUBB®

<取扱代理店>

有限会社エークイック TEL 03-5816-4661 FAX 03-5816-4660